

小学校で、コミュニケーション能力の素地を養い、中学校で、「聞く、話す、読む、書く」の

大切にしたい力

英語に親しみ、積極的にコミュニケ - ションを図ったり、表現したりする力

4 つの技能における表現力を活かして、コミュニケーション能力を高めさせたい。

内 容 学習期	活用させたい・身につけさせたい表現	学習の具体例	学びあい場	カリキュラム改善の視点
小学校 第 5 学年	<div><div>・あいさつ、天気・曜日の言い方</div><div>・自己紹介 My name is ～ 感情を表す表現 I ’ m happy . など</div><div>・1 ～ 2 0 までの数の言い方、色の言い方</div><div>・Do you like ～ ? I like ～ .</div><div>・Do you have ～ ?</div><div>・What ’ s this ?</div><div>・数、色、今まで習った単語の活用</div></div>	<div><div>・当番を決め、毎授業の初めに、あいさつ、天気・曜日などの日常会話を練習する場を設ける。</div><div>・時間内にできるだけ多くの人に自己紹介する。名刺交換ゲーム</div><div>・歌で単語を覚える。ピラミッドゲーム、スネークス・アンド・ラダーズ・ゲーム</div><div>・自分の好きなものを I like ～ で表現し、自己紹介をする。</div><div>・買い物ゲームを通して、自分が必要とするものがあるか尋ねたり、答えたりする。</div><div>・自分たちで問題に出すものを決め、何であるかのクイズを出したり、答えたりする。</div></div>	<div><div>・友達が英語で会話するのを聞く。</div><div>・二人組で練習後、全体で練習する。</div><div>・ゲームを通して、数の言い方を練習する。</div><div>・友達が英語で発表するのを聞く。</div><div>・ゲームやクイズを通して、受け答えに必要な表現の練習をする。</div><div>・友達が英語で発表するのを聞く。</div></div>	<div><div>・あいさつや自己紹介、簡単な日常会話などを通して、コミュニケーションの大切さや楽しさを学ばせる。</div><div>・言葉以外のコミュニケーションの手段を活用しようとする意欲を育てる。</div><div>・歌やリズムを利用して、楽しみながら英語の音声の特徴をとらえられるようにする。</div></div>
第 6 学年	<div><div>・あいさつ、天気・曜日・月の言い方 感情を表す表現 I ’ m happy . など</div><div>・アルファベット(大文字、小文字の認識) Do you have ～ ?</div><div>・2 0 ～ 1 0 0 までの数の言い方 When is your birthday ?</div><div>・I can ～ .</div><div>・Go straight. Turn right/left .</div><div>・I want to be a ～ .</div></div>	<div><div>・当番を決め、毎授業の初めに、あいさつ、天気・曜日などの日常会話を練習する場を設ける。</div><div>・チャンツを声に出すことによって、文字の認識を深める。ゲーム</div><div>・チャンツで月の言い方を覚える。友達の誕生日を聞き、自分の誕生日を答える。</div><div>・I can ～ の表現が入ったクイズを出したり、それに答えたりする。</div><div>・道案内の場を設定して、友達を英語で案内する。</div><div>・将来の夢を紹介する。</div></div>	<div><div>・友達が英語で会話するのを聞く。</div><div>・友達と必要な表現の練習をする。</div><div>・ゲームを通して、誕生日の言い方を練習する。</div><div>・クイズを通して、必要な表現の練習をする。</div><div>・友達と必要な表現の練習をする。</div><div>・友達が英語で発表するのを聞く。</div></div>	<div><div>・ALT と HRT の見本を聞くことで、使われている表現を理解させる。</div><div>・できるだけ英語で指示し、ALT の話を推測しながら聞かせる。</div><div>・授業の展開をルーティン化する。</div><div>フラッシュカードなどを用い、視覚的に単語などを覚えられるようにする。</div></div>
中学校 第 1 学年	<div><div>・be 動詞</div><div>・一般動詞（3 人称単数現在を含む）</div><div>・疑問詞を用いる疑問文（ what , who , when , where , which , how ） など</div><div>・現在進行形</div><div>・命令文</div><div>・can を用いた表現（許可、依頼表現 Can I ～ ? / Can you ～ ? を含む）</div><div>・過去形</div></div>	<div><div>・自己紹介、生徒同士など人や物を紹介する文を作成し、発表する。</div><div>・生徒同士で具体的な情報をたずねたり、答えたりする。答えに一文付け加える等、長い会話のやりとりをする。</div><div>・絵を見て表現したり、交通情報を聞いたりする。</div><div>・標識の絵や学校の決まりなどを題材に、命令文を作る。</div><div>・できることをたずねたり、答えたりする。スキットを作って発表する。</div><div>・過去 1 年間の思い出を振り返る作文を絵はがきに書き、生徒同士で送り合う。</div></div>	<div><div>・ペアワークやグループワーク</div><div>・発表活動での生徒同士の相互評価</div></div>	<div><div>・ALT とのコミュニケーション活動の充実。</div><div>・4 技能を統合させる活動の工夫。</div><div>・音や視覚的教材など多様な学習形態の工夫。</div></div>
第 2 学年	<div><div>・be 動詞の過去形と過去進行形、「look + 形容詞」</div><div>・be going to ～ .</div><div>・ていねいな依頼表現（ Could you ～ ? / May I ～ ? ）</div><div>・不定詞（副詞的用法・名詞的用法・形容詞的用法）</div><div>・助動詞（ can , will , must , have to ）</div><div>・if 節、that 節、when 節、because 節</div><div>・There is (are) 構文・動名詞</div><div>・比較級、最上級、as ～ as の形</div></div>	<div><div>・持ち物や自分の住んでいる地域、自分の好きなことについての紹介文の作成。</div><div>・英文日記、英文メール、夏休みの記録文、5 行詩の作成。</div><div>・モデル対話の音読・ロールプレイ。</div><div>・教科書本文の内容を理解し、ワークシートを使ってさらに深める。</div><div>・電話での会話の場や道案内の場面、町の紹介の場面、買物の場面を設定し、英語を使って対話を行う。</div><div>・飛行機の搭乗案内や機内放送、天気予報やニュースの概要、テレビ広告や映画ヒットチャートの情報を正しく聞き取り、理解する。</div><div>・まとまった英文（物語）を理解し、気持ちをこめて音読する。</div></div>	<div><div>・友達のスピーチを聞いて、内容を聞き取る。</div><div>・ペア活動やグループ活動を取り入れ、コミュニケーションをとる練習をする。</div></div>	<div><div>・英語・イディオムの知識や理解を深め、実際に表現する。</div><div>・ALT との活動やペア・グループ活動を通し、コミュニケーションの大切さや楽しさを学ぶ。</div><div>・定期テストで重要構文の定着を図る。</div></div>
第 3 学年	<div><div>・受け身</div><div>・現在完了</div><div>・不定詞</div><div>・分詞 / 間接疑問</div><div>・関係代名詞</div></div>	<div><div>・文化紹介のスピーチで「～と呼ばれる」「～のとき使われる」等の表現を用いる。</div><div>・「ずっとしていること」や「したことがあること」を相手にたずねたり、自分のことを伝えたりする。</div><div>・自分にとって簡単なことや難しいことを発表する。</div><div>・議論に参加して、賛成・反対など意見を述べる。</div><div>・著名人についての紹介文を読んだり、聞いたり、まとめたりする。</div></div>	<div><div>・スピーチを聞き、相互評価する。</div><div>・ペアワーク</div><div>・発表を聞く。</div><div>・意見を述べ合う。</div></div>	<div><div>・相互評価でスピーチでの英語の話し方を学ばせる。</div><div>・自分のことや考えを述べることを通じて、実践的コミュニケーション能力を高める。</div></div>

